

看護ゼミにゅーす 第3号

2012年9月21日 看護ゼミ報告



「家族の思いを知ることからスタートした ヤコフ病患者家族と看護スタッフの関わり」 5 東 伊藤さん

入院後急激に ADL 低下、意識レベルの低下を認め、ヤコフ病と診断された患者さん。看護師は家族の思いを聞くことからはじめました。家族と一緒にカンファレンスを行い、チームで情報共有、試行錯誤しながら看護を実践。固定チームナーシングの優位性を発揮できたすてきな事例でした。

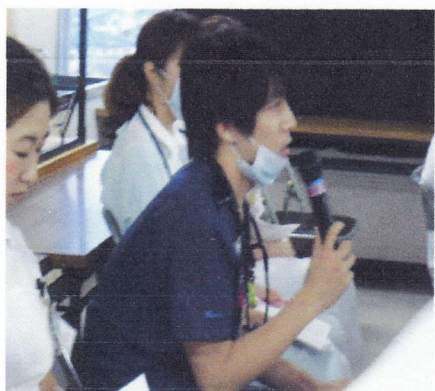


「NST 活動報告」NST 委員会 吉元師長

「NST とは?」「栄養管理なくして良質な医療の提供はない」「栄養療法の原則」などわかりやすく説明してくれました。後半は医科歯科連携の立場から事例を紹介。

「口の中をのぞくことも大切」と学びました。

参加者からは「NST の役割が良くわかった」「無料歯科健診が行われていることをはじめて知った」「消化管を使うことが大切」などの感想が寄せられました。



参加者は約 50 名

西岡医師も参加、発言してくれました。今回も、みんなで濃い学びの時間を共有しました。

*4 西の事例発表は、都合により延期しました。

次回の看護ゼミは、10月19日(金)17時～18時です。事例発表は、6 東・透析室、学習は五十嵐師長の「退院支援」です。皆さんの参加、お待ちしております!